

社会科・公民科教育法Ⅱ

科目ナンバリング ESS-306
教職 選択 2単位

佐藤 高樹

1. 授業の概要(ねらい)

前期社会科・公民科教育法Ⅰから引き続き、この授業では、中等社会系教科(社会科・公民科)の指導の理論と方法について実践的に学ぶことを通して、当該教科を担当する教職としての専門的力量を身に付けていく。とりわけ、次の2点を主眼とする。

(1)社会科・公民科の目標及び内容:学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。

(2)社会科・公民科の指導方法と授業設計:基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

後期教育法Ⅱでは、受講生による模擬授業や省察(リフレクション・シートの作成)、学生相互の授業批評(授業批評シートの作成)を盛り込んでいく。また、グループ・ワークを通してすぐれた授業実践や教材編成について受講生同士が議論を重ねる中で、各自が自身の教科観・授業観を相対化し、実践の理論化へと向かう高度で専門的な視点を身に付けることをねらいとする。

※本授業は、教育職員免許法施行規則に定める教職に関する科目(「教育課程及び各教科の指導法に関する科目」)である。中学社会、高校公民の免許取得を希望する者にとっては必修である。

2. 授業の到達目標

(1)社会科・公民科の目標及び内容

①学習指導要領における社会科・公民科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。

②個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。

③社会科・公民科の学習評価の考え方を理解している。

④社会科・公民科の背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。

⑤発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。

(2)社会科・公民科の指導方法と授業設計

①子どもの認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。

②社会科・公民科の特性に応じた情報ツール及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。

③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。

④模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。

⑤当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。

3. 成績評価の方法および基準

模擬授業とリフレクション・シートの提出(40%)、模擬授業批評シート(30%)、および最終課題(試験)の成績(30%)に基づいて総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

[教育法Ⅰから継続]

文部科学省 中学校学習指導要領解説(社会編) 東洋館出版社

文部科学省 高等学校学習指導要領解説(公民編) 東京書籍

『新しい社会 公民』中学校社会科教科書 東京書籍

『詳述 公共』高等学校公民科教科書 実教出版

5. 準備学修の内容

[教育法Ⅰからの課題に加えて]

(1)模擬授業を行うにあたり、受講生仲間とともに議論・情報交換・予行練習等、必要な準備を前もって行うこと。

(2)ウェブ上にある映像教材など、ICTと関わって自身の授業に生かしたい、信頼性のあるサイトをチェックしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

(1)受講者について、30人を基準として、場合によっては抽選を行う。なお、学部の必修授業の関係で、履修の時限が限られている場合、担当教員に相談すること。

(2)「社会科・公民科教育法Ⅰ」から継続して受講することを履修条件とする。

(3)前期同様、理由なく欠席した学生は、その時点で本授業を受ける資格を失うので注意すること。欠席する場合は事前に教員に連絡すること。

7. 授業内容

【第1回】 後期イントロダクション—学習指導案(前期提出)の検討—

【第2回】 「教科の学力」を深める—夏期レポート課題の成果発表—

【第3回】 実践開発研究に学ぶ(論文記事検索と収集)—模擬授業に向けて—

【第4回】 現代の諸問題を学ぶ単元開発(その1)—開発教育を事例に—

【第5回】 現代の諸問題を学ぶ単元開発(その2)—シティズンシップ教育、主権者教育の理論と実践—

【第6回】 労働社会を生きるための法教育実践

【第7回】 中学社会・模擬授業(その1)—憲法学習を事例に—

【第8回】 中学社会・模擬授業(その2)—政治学習を事例に—

【第9回】 中学社会・模擬授業(その3)—経済学習を事例に—

【第10回】 高校公民・模擬授業(その1)—公共:民主政治と日本国憲法—

【第11回】 高校公民・模擬授業(その2)—公共:経済社会と国民生活—

【第12回】 高校公民・模擬授業(その2)—政治・経済、倫理—

【第13回】 授業づくりの視点(その1)—模擬授業のふり返り、総括—

【第14回】 授業づくりの視点(その2)—社会科学的認識形成の道すじ—

【第15回】 まどめと評価—4年次に向けて—(LMS)

(※受講者の人数に応じて、模擬授業の回数に変更を行うことがある。)